

平成28年第5回定例会一般質問通告一覧

質問順位	質問者	持ち時間	質問事項及び質問内容
1	鈴木 茂	60分	<p>1. 新しい人の流れをつくる」という地方創生総合戦略の観点から、町長 観光客誘致に今後どのようにとりくむのか、町の考えを伺う</p> <p>(1) 新たな人の流れをつくるには、団塊の世代をターゲットにした観光客誘致が地方創生事業の中で重要な問題である。観光客誘致に対して町はどのような考えで望み、どのような事業を考えているか伺いたい。</p> <p>(2) 那倉の桜の観光地化や湯岐溪谷などの河川の倒木撤去についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(3) 普段何気なく見過ごしている町内の新たな観光スポットや観光資源の発掘をすべきと思うが考えを伺う。</p> <p>(4) 今後の観光客誘致のため、重要な位置に立つと思われる観光協会の組織強化などにどのように取り組むのか伺う。</p>
2.	山菜「タラノメ」の早期販売解除を目ざすべきと思うが町の考えを伺う		<p>(1) 町が原発事故による風評被害を払拭するには山菜タラノメの販売早期解除が不可欠である。県に解除基準の緩和や弾力的運用を求め販売が早期に実現できるよう図るべきと思うが町の考えを伺う。</p> <p>(2) 道の駅にモニタリング用ゲルマニウム半導体の放射能検知器を県から委託導入してはどうか伺う。</p>

質問順位 質問者	持ち時間	質問事項及び質問内容
2 高縁 光	60分	<p>1. 「京セラ」 棚倉工場の操業中止にともなう埴町民の影響と対策について 町長</p> <p>(1) 「京セラ」 棚倉工場の操業中止にともない、従業員の雇用に影響する可能性がでていますが、埴町民で影響する人数はどのくらいになるのか。また、解雇(北海道北見市へ配転できない従業員は自己都合による退職とされているようだが) による国・県などの行政の対応はどのようになるのか。</p> <p>(2) 町長は、「京セラ」 棚倉工場の操業中止の撤回を求めて、同工場へおもむいて、申し入れをおこなう考えはないのか。</p> <hr/> <p>2. 今年度の国保税を引き下げる努力が必要だったのではなかったのか 町長</p> <p>(1) 政府は、国民健康保険の「低所得者の多い保険者対策」として、2015年度から約1700億円の財政措置をおこなった。厚労省はこれについて、「被保険者保険料負担の軽減やその伸びの抑制が可能」「被保険者一人当たり約5000円の財政改善効果」としている。この約1700億円の財政措置については、町としても本来の目的である「低所得者の国保税負担軽減」として活用する必要がある。国から「低所得者の多い保険者対策」として市町村に交付された金額は、埴町としては昨年度はいくらになったのか。また今年度の見込み額は、いくらになるのか。これは、今年度の予算書には、どのような計上となっているのか。</p> <p>(2) 本年度の国保税率を検討したなかで、国の財政措置にもとづいて、減税の判断ができなかったのか。</p> <hr/> <p>3. 学校給食費の無料化を推進すべきではないのか。 教育長職務代理者 町長</p> <p>(1) 学校給食費に助成する町村は、東白川郡・石川郡ではどのようになっているのか。小学校・中学校で学校給食費の無料化を実施した場合の町の予算はいくら必要となるのか。また半額助成を実施した場合の、町の予算はいくら必要となるのか。</p> <p>(2) 学校給食の無料化について、他の市町村では学校給食法により、保護者が食材費は負担してもらうことが決められているという説明がなされているが、これが学校給食費の無料化を決断できない原因となっているのか。</p> <p>(3) 文部科学省は、「学校給食法の規定は、保護者負担の規定はしているが、自治体の助成を規制しているのではない」という見解が示されていると聞いているが事実か。埴町でも、学校給食費への助成を決断すべきと思うが見解を伺う。</p> <hr/> <p>4. 県道高萩埴線について 町長</p> <p>(1) 湯岐地内の計画はどのようになっているのか。現在道路利用者は通勤などで生活道路となっているので早期に道路の拡幅をし危険のない道路にすべきと思うが町はどう考えているのか。</p>

質問順位 質問者	持ち時間	質問事項及び質問内容
3 七宮 広樹	50分	<p data-bbox="172 315 1482 376">1. 「災害に強い町づくり」と「防災意識の高い町民づくり」について 町長</p> <p data-bbox="225 383 1482 450">(1) 町の情報伝達のためのIP電話が災害時に使用ができない場合には、どのように災害情報を町民に知らせるのか。</p> <p data-bbox="225 517 1482 584">(2) IP電話を設置してから5年になるが、修理などメンテナンスの状況はどのようになっているか。また、機器の更新など今後の対応をどのように考えているのか。</p> <p data-bbox="225 651 1482 719">(3) 安全安心の町のためには、町民一人一人の防災意識の向上が大切であるが、意識向上を促すため、どのような取り組みをしているのか。</p> <p data-bbox="225 786 1482 875">(4) 県南地域全域の防災訓練は実施されているが、埴町独自の防災訓練の実施も必要と感じる。防災センターを拠点として、警察署・消防署・各行政区長・消防団等の連絡体制の確認や全ての災害を想定した訓練をすべきではないか。</p> <p data-bbox="225 943 1482 1133">(5) 阪神・淡路大震災や東日本大震災では、火災の6割以上が、電気器具からの出火が原因だった。このため、「感震ブレーカー」が有効であるという。兵庫県の養父市では、「感震ブレーカー」の設置の補助制度がある。また、他自治体では防災備蓄倉庫を整備し、万が一の事態に備え、毛布や非常食を保管している。町では災害に事前に備える助成制度の創設や、空き施設を活用した防災備蓄倉庫などを考えているのか。</p> <p data-bbox="225 1200 1482 1267">(6) 町では個人住宅の耐震化を補助制度で進めているが、耐震化率の把握と今後の取り組みについてどのように考えているのか。</p> <p data-bbox="225 1335 1482 1491">(7) 内閣府によると、今後30年以内にマグニチュード7クラスの「首都直下地震」が発生する確率は70%と推定されている。「首都直下地震」が発生し東京都周辺が甚大な被害を受け、埴町と交流のある葛飾区・練馬区が破壊的な被害に見舞われた時、町はどのように対応するのか。移住者支援や空き施設の活用などは考えているのか。</p>